

であると存じます。先年度に於て私は幼稚園二ヶ年に尋常一年の教育の三ヶ年を経験した事がありますが、力ない自分の事としてよい教育をする事は出来ませんでした。が、人格的聯絡といひませうか

一年幼稚園の各々によく見る縁りかへしや、徒勞に近い仕事だけは省く事が出来非常に愉快で御座いました。なほ尋常一年の教育に就ても考へてゐる事や、一年の先生に申上たい事等も御座います。が、何分制度や設備人數其他の点から、さう理想的の事を要求出来る筈のものでありませんので、先づ第一に私共人の問題から心掛けていかねばならないと存じます。

昨今は随分進んでゐるやうですが、もつと一年幼稚園の兩方の先生があゆみより手を取り、うちとけあつた教育上の話合が必要であると思ひます。そこにこそ本當の幼稚園一年の聯絡問題が生きていくのであると存じます。短い時間に申上

たい事を欲ばりましたので結局何もかも纏らなくなりましたが、御判じを願ひあはせて御靜聽を感謝いたします。

立體紙摺の世界と

觀察の世界

静岡櫻幼稚園 林 せい子

一般の傾向が、大人は計畫するが實行せず子供は喜んでなす。この點を優しい母として眺めて行く時子供の愉快に努力してやりたくありません。子供は何時でもおもちゃと仲良しで色んな方面から集めて來ますが、必ずしもよいもの丈ではない。それで良いおもちゃを選ぶことが必要でございます。子供に良き手本を與へること、子供の求める力は強うございます。得ずにはおかないのですから、先生が之を上手に方向轉換してよき世界に導

いてやります。

幼稚園の項目の手技の摺紙がもつと立體的になると玩具となり観察となります。立體紙摺と観察を結びつけると自然に結びつきます。その一例を申し上げます。四月のある日郊外にまわりました。麥が一面に緑をなす時で、又六月それが大きくなつた頃出かけました。大きくなつたねと子供は喜びました。お米の唱歌を習つたので直ぐ唱歌を歌ひだし、苗代と結びつきました。それからその邊で面白く遊びました。大ばこで引つ張りッこする、片方では白れんげ摘み、蝶追ひ、たもであたまじやくしをすくふ。斯うして遊んでゐる間に豊に觀察をして居ります。歸りに藁を積んである所を通りました。その一束をみんまでもらつて歸ります。紙折、箱、紙入などが造作なく出來ます。そのわりに色をつけて用ふのです。

又八百屋遊びを致します。二三此方より果物を

畫き出す、幼兒は種々と注文を出して畫きます。

果物屋には果物しかないが、八百屋には果物も青物もあるといふ觀察が出來ます。こうやつてみんなで畫いて切り抜た果物で果物屋さんを初めませう申としますと段々に必要な袋だのかごを作り自然の間に八百屋に對する觀察がつかます。

まゝごとの時も必要なもの、欲しがる物を買はずにすつかりこさへてやります。立體紙摺は觀察が一緒に楽しく出來ますから子供の生活が楽しく出來るわけです。何か欲しいといふ時、先生が直ぐ作つて賣子になるのもよろしいではございませんか。それには先生にその材料を養ひおくことが必要です。立體紙摺は斯うして疊んでしまつてあるのを立體に擴げて用はれますから子供が喜びます。